

さざなみの児ら

平成23年4月18日 No.1

あいさつがとびかい 歌声が響き 笑顔があふれる 女川二小

各地から次々と花便りが届いています。いつの間にか、吹く風も暖かくなり、周りに目をやると校庭の花々や木々も春色に変わっていました。季節はいつもと変わりなく動いています。

12日には、たくさんの方々の御支援のお陰をもって、平成23年度の始業式と入学式を実施することができました。一時的に他校へ転校している児童もあり、155名での新年度のスタートです。大震災で生活が一変し、味わったことのない辛く悲しい体験や困難があったであろう子供たち。それらを乗り越えて学校に戻ってきた子供たちが、夢や希望を持ってたくましく伸びていくよう、職員一同全力で教育活動に当たっていきます。

始業式では、子供たちに次のような話をしました。

・・・皆さんが学校に戻ってくる今日の日を先生方は待っていました。進級おめでとう。いよいよ今日から新しい学年の始まりです。・・・

皆さんがこうして顔を合わせるのは、あの大震災以来、1ヶ月ぶりですね。その間、皆さんは、様々な経験をし、生活が大きく変わったことだと思います。一人一人、様々な思いを持って、今日の始業式の日を迎えたことでしょう。先生方は、皆で、皆さんの思いを受け止め、皆さんが友達と仲良く学習したり、元気に運動したりしながら、楽しい学校生活を送れるように努力します。皆さんも、しっかりと目標を立てましょう。そして、希望を持って学校生活を過ごしましょう。先生方は全力で皆さんを応援します。

・・・では、校長先生は今どんな希望を持っているかを話します。二小の子どもは、1年生から6年生まで3つのことができる子どもになってもらいたいという希望です。

1つ目は【あいさつのできる子ども】です。目を見て、心をこめてあいさつしましょう。・・・あいさつは心と心をつなぐキャッチボールです。「おはよう」「元気」と声を掛け合いましょう。

2つ目は【一生懸命学習する子ども】です。よく分かるときもあれば、難しいなあと感じるときもあるでしょう。でも皆さん、考え方抜いて難しい問題が解けたり、何度も学習して漢字を覚えたりしたときには、とても気持ちがいいことを知っているはずです。できるようになること、わかるようになることはとても素敵なことです。一生懸命、真剣に学習しましょう。

3つ目は、【一生懸命働く子ども】です。毎日の掃除や係りの仕事など、真面目に仕事をしっかりと行いましょう。やるべきことをきちんと行える人は、あきらめずに最後までやり遂げる粘り強い心、困難にもくじけないとましい心をつくることができます。

以上が私の持っている希望です。皆さんへのお願いといったほうがよいかもしれません。それから、四小の皆さんと一緒に校舎で学校生活を送ります。学習の時間や休み時間など一緒に活動することができます。これまでと同じように仲良く過ごしていきましょう。

今日からスタートする平成23年度が、一人一人の努力と活躍の記録が刻まれる素晴らしい一年になることを期待して、お話を終わります。

子供たちの可能性の伸長と健やかな成長を目指し、19名の教職員が一丸となって頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

4月12日（火）始業式での児童代表のことばを紹介いたします。6年生の渡邊杏奈さんが、力強く、今年のめあてを発表しました。

6年生でがんばりたいこと

6年 渡邊 杏奈

東日本大震災でたくさんのものをなくしました。二小の伝統を受け継ぎ、素敵な二小を築こうと約束した友達も遠くに離れてしまいました。離れていた仲間の思いを込めて、がんばりたいことを三つ決めました。

一つ目は、いつも笑顔でいることです。理由は、笑顔でいることで、学校だけではなく、地域の皆さんも明るくなればいいなと思ったからです。

二つ目は、友達を大切にすることです。避難所で支え合って生活し、不安な気持ちが和らぎました。

三つ目は、6年生として責任をもつことです。責任をもって行動し二小を盛り上げていきたいと思います。

『負けねっちゃ、女川二小』を合い言葉に、二小っ子の底力を發揮する大きな一步を踏み出します。

平成23年度、女川
第二小学校の職員を紹
介いたします。



校長	梶 谷 美智子	6年1組担任	里 孝修
教頭	阿 部 清 司	6年2組担任	子 美子
教務主任	伊 藤 勝 彦	少人数指導担当	英 忠裕
1年担任	管 原 都 恵	通級指導担当	子 紀由
2年担任	西 村 英 恵	養護教諭	紀 敏淳
さざなみ学級担任	大 内 浩 治	主査	文 レーニ・ロバート
3年担任	菅 井 秀 成	技師	子
4年担任	土手内 千 春	業務員	木
5年1組担任	石 森 侑	図書補助員	木
5年2組担任	高清水 英 俊	外国語等指導員	子

全国から心温まる支援をいただいております

- ユニセフや日本経団連1パーセントの会、徳島県教育委員会から、ランドセルや鍵盤ハーモニカ、文具類をいただき、子供たちに配布しました。また、各種NPO団体より傘や運動靴などもいただきました。順次、子供たちに配布しておりますが、均等に配布できないものもあります。ご理解をいただきますようお願ひいたします。
※ 体育着も支援していただく予定になっておりますが、入荷までに時間を要するそうです。
※ ノートや消しゴム、鉛筆、筆箱、はさみ、のりなどは、十分にご支援していただきました。今後、児童用マスクや習字用の半紙、A4の紙ファイルなどの不足が予想されます。支援を申し出でいただいた個人及び団体の皆様にご依頼する予定です。
- 春休み期間中、徳島県教育委員会より派遣された先生方に、校舎内の整理・整頓をしていただいたり、青空教室で子供たちといっしょに活動していただきました。
- 同じく春休み期間中、安倍ことみ様に、語り部のボランティアをしていただきました。昨年度同様に、本年度も継続していただくことになります。安倍様には、毎朝体育館入り口や通路の清掃もしていただいております。



【始業式には、135名の児童が集まりました】



【入学式には17名の児童が参加しました】



【1年生に支援物資が配されました】



【入学式後、担任といっしょに記念撮影をしました】



【入学式でランドセルをいただきました】

全国各地から温かいご支援をいただき、ほんとうにありがとうございます。

4月20日現在、消しゴムや鉛筆、ランドセル等の物品は十分に足りている状況です。また、大学ノート（罫線ノート）は小学生にはやや使いづらいノートです。今後、ご支援いただけるならば、8ますや10ます、12ます等のますのノートをいただければ幸いでございます。

また、今後不足すると思われる物品として、①子供用マスク、②整理用のロッカーとしてカラーボックス（学校内のロッカーも破損したり変形したりしました）をご支援いただければと思います。



【励ましのメッセージが届いています】



【下校前にゲームをして遊ぶ子供たち】



【励ましのメッセージを読む子供たち】

※ 絵手紙による励ましのメッセージは、
図工の時間にも活用しています。

4月12日から学校が再開されました。子供たちは、これまでと異なった環境（帰宅先が避難所や親戚の家になったり、ほとんどの児童がスクールバス通学になりました）に対応しなければなりません。

一部マスコミによる報道では、食べ物もなく我慢を強いられていることだけが優先されていますが、子供たちも先生方も元気です。『まげねっちゃん 女川（まけないぞ女川』を合い言葉に、がんばっています。

ご支援してくださっている皆様、女川の子供たちは負けません。きっと、この困難を乗り越え、大きく成長します。引き続きご支援ください。



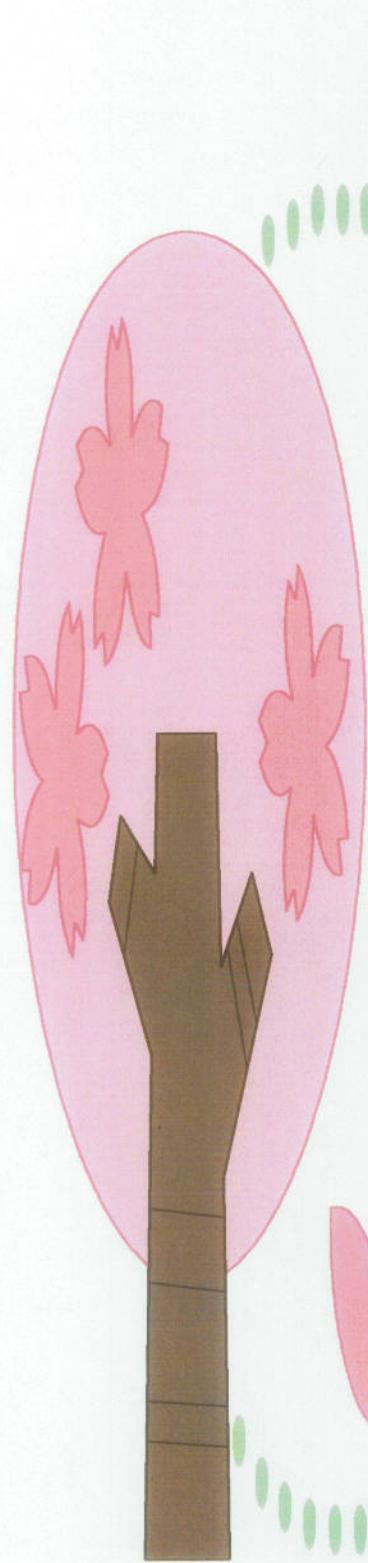
【スクールバス通学】



【これからスクールバスに乗車です。6年生が、下級生のお世話を率先して行っています。】

けいごむをもろて
ありがとうございます
す。これからもだいじ
にします。

2 年 和泉 格斗



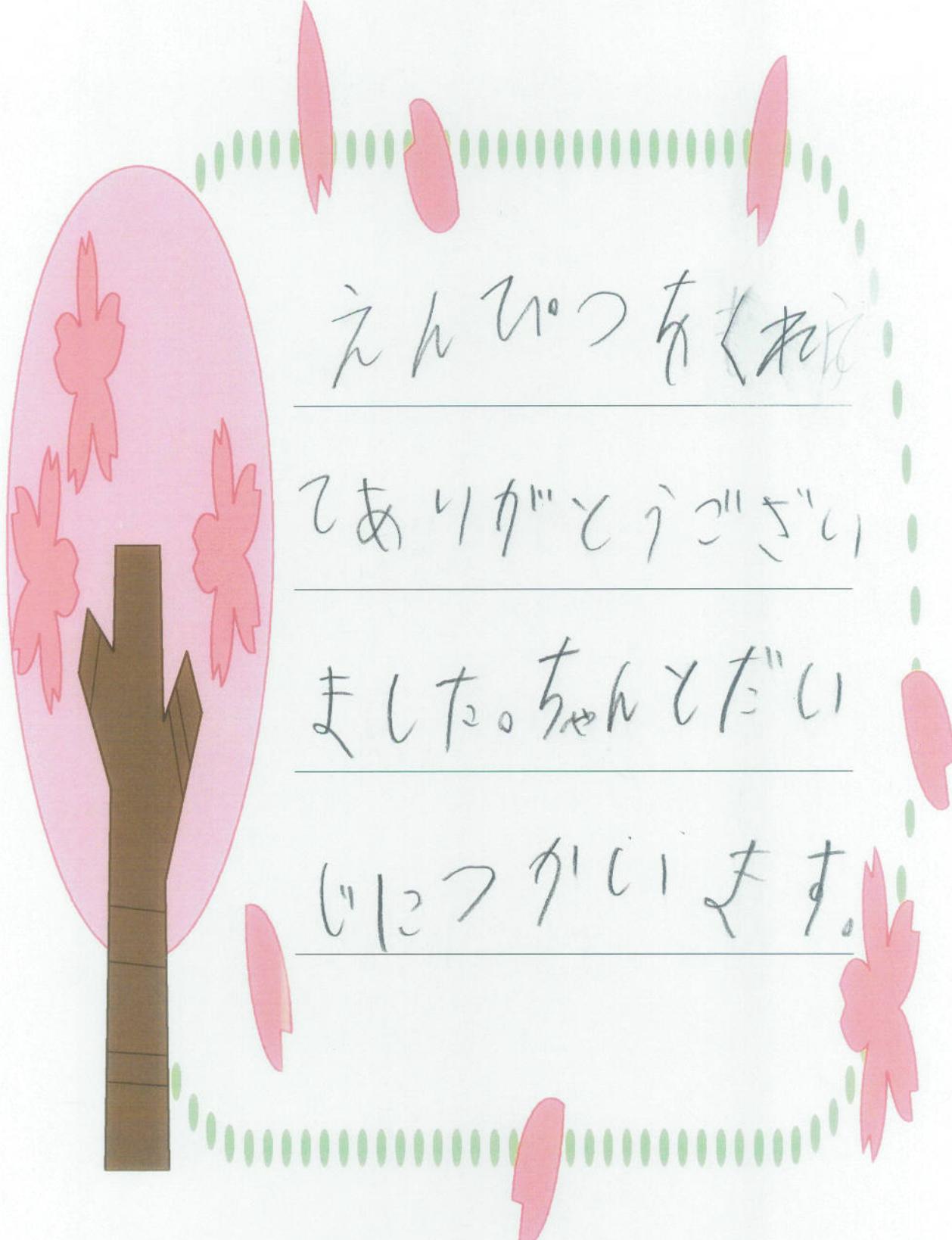
えんわつをくれ

てありがとうございます

いました。だいじ

れにします。

2年になりますみゆうと



えんひつをくれる

てありがとうございます

ました。ちやんとだい

じはつきります。

2年 山本 真子